

市内で行われた活動やイベントを紹介します。

まちの顔

MACHI NO KAO

のどじま おつけ祭り

11月1日(日)

今年で4回目となる「のどじまおつけ祭り」が能登島緩目町の緩目漁港で行われた。会場では、いろいろな「おつけ(=汁物)」を食べようと多くの来場があった。朝捕れた魚の直売コーナーや炭火焼コーナー、アトラクションなどでも会場をにぎわしていた。茶碗も統一された茶碗で盛り付けられ、最後の一滴まで飲み干す方も。当日は、肌寒い日だったこともあり、来場者は口をそろえて「温まるわ」。

このようなまちづくりの取り組みを続けていくことで、改めて自分の住む地域の良さを感じられるのでは。



魚介類を焼きながら「おつけ」を吸う



魚の直売コーナーに群がる光景



「おつけ」を食べるかわいい子ども



統一された「おつけ」茶碗



香島津太鼓の演奏



能登島野崎町の秋祭り:豊年踊り



おいしそうに食べる来場者

秋の大市 丸亀市の観光と物産展

11月2日(月)～3日(火・祝)



秋の大市でにぎわう一本杉通り

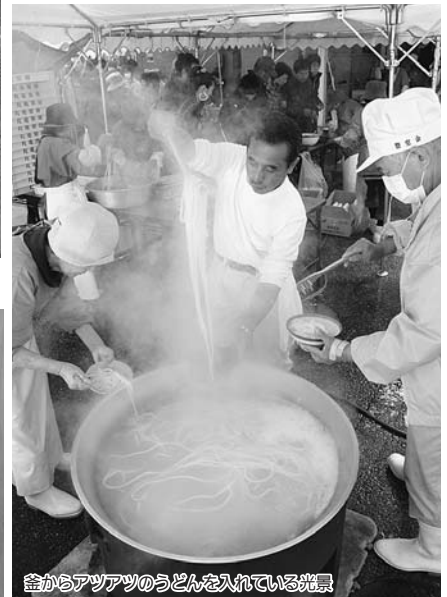
今年も「秋の大市」が一本杉通りを中心に開催された。2日は悪天候で人が少なかったが、3日は晴天となり多くの人でにぎわっていた。旧中央図書館前では、親善都市の香川県丸亀市の観光協会の方々ボランティア団体「碧空会」のメンバーが讃岐うどんの実演販売を行った。本場の讃岐うどんを食べようと多く人で長蛇の列が出るほどの人気振り。もちもちとした食感で「ずるずる」と一気に食べてほしてしまうほど。「この讃岐うどんを来年も食べたい」と今から待ち遠しく感じている人も多いのでは。



作りたての「金玉うどん」



うどんを食べるために並ぶ長蛇の列



釜からアツアツのうどんを入れている光景



10月16日:七尾総合市民体育館

市内の6園の園児120人と老人クラブ連合会の会員350人とが合同でスポーツ大会で汗を流した。玉入れやなかよし電車、フォークダンスなどの種目を楽しんだ。お年寄りたちは、園児の楽しむ姿に笑みを。園児の元気がお年寄りの心を少しばかり若返らせていたのでは。

お年寄りと園児が一緒に汗を流す！
老人と子どものスポーツ大会



10月21日:青山彩光苑

市内の障害者施設6カ所をプロレス団体「ドラゴンゲート」のレスラーのストーカー市川(右)とアミーゴ市川(左)が慰問に訪れた。取材先の青山彩光苑では、プロレス技の披露、記念撮影と入所者を喜ばせていた。プロレスファンの入所者は「見に行くのが楽しみです」と。

プロレスラーが障害者施設を慰問
プロレス団体「ドラゴンゲート」



10月23日:本宮保育園

本宮保育園では、自分たちで収穫したサツマイモを保育園の庭で焼き芋にして食べた。園児たちはおいしく出来上がるために焼き芋の歌を合唱して出来上がりを待った。焼きあがった芋を園児たちは「ふーふー」と熱さを冷ましなが、「ほくほくして甘い」と焼き芋を味わった。

落ち葉で焼き芋「甘くておいしい」
本宮保育園で焼き芋



10月24日:七尾城山野球場

七尾市野球協会は、底辺の拡大を目指す企画として、元中日ドラゴンズのエース・小松辰雄さんを講師にベースボールクリニックを開催。子どもたちは、元プロ野球選手からの指導ということもあり、小松さんの指導に真剣なまなざしで聞き入っていた。プロ野球選手目指して頑張れ！

元プロ野球選手・小松辰雄さんから
直接指導 ベースボールクリニック



10月30日:和倉温泉観光会館

サッカー日本代表岡田武史監督らを招いて「七尾スポーツ合宿フォーラム」が開催された。岡田監督は「温泉は選手同士のコミュニケーションが取れる場として有効」と述べ「スポーツ合宿地として選ばれるためにはどうすればいいのか」について意見を交わした。

サッカー日本代表岡田武史監督らを
招いて 七尾スポーツ合宿フォーラム



11月4日:北村病院

11月4日(水)御祓町の白石尊さん(明治42年11月3日生)が100歳の誕生日を迎えた。現在は病院暮らしをしているが、明るくハキハキと話もしていた。武元市長がお祝いに来られると笑顔で「感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございます」と。

百寿(100歳)お誕生日おめでとう
白石尊さん